

石陵堅壯口授
神寄有隣筆記

博物新編記聞

下

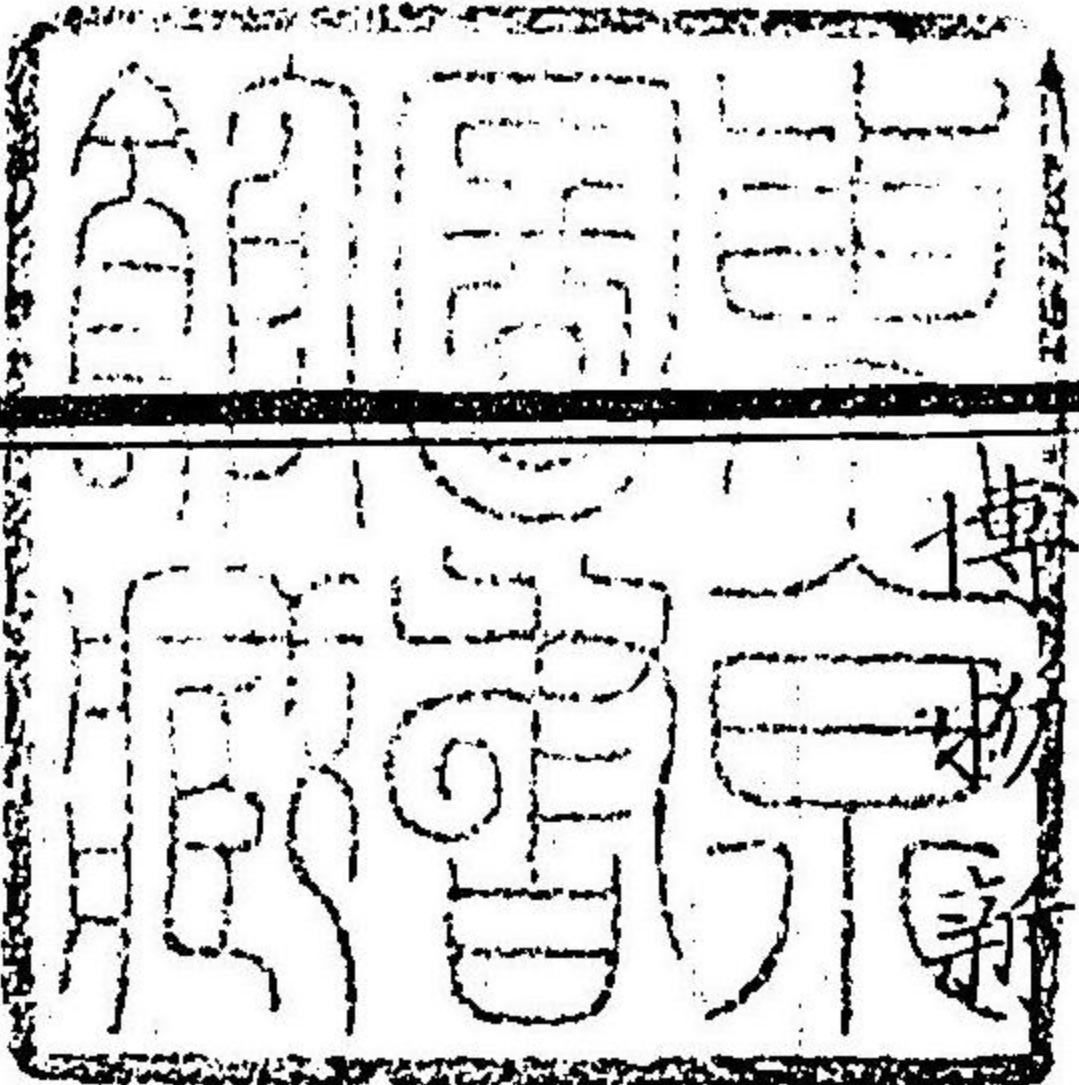
特 37

501

大日本教育會書籍			
第 三 室			
二	冊	二	架
冊	號	架	函

第三二九號

明治十九年五月七日文部省交付



博物新編紀聞卷下

備前

石坂堅壯

口授

備中

神崎有隣

筆記

○鳥獸略論條

天下昆蟲禽獸種類甚多

凡天下ノ動物ヲ四属

二分ツ

其一

耀輝屬ト云

植蟲

海鏡ノ類

是ナリ

其二

關節屬ト云

無血蟲類

又ト云

蜘蛛

鰕蟹類

類

是ナリ

其三

軟体屬ト云

牡蠣

烏賊

蛭類

是ナ

博物新編紀聞

卷下

一

此條諸
屬拾遺
解アリ

リ其四 脊骨屬ト云魚類。鳥類。胎生類。是ナリ
胎生類ヲ復九等ニ分シ 一胎生魚族。即鯨鯢。海
馬。江豚。類是ナリ 二翻芻族。即牛。羊。駝。鹿。類是ナ
リ 三豐肌族。即犀。象。豚。馬。類是ナリ 四無齒族。即
鱗獸。喙獸。食蟻獸。是ナリ 五錯齒族。即兔。鼠。類是
ナリ 六胸袋族。即オホシユス。カシグー。ル。共ニ亞
洲ニ産スル猫ノ一種ナリ此獸胸ニ一囊アリ
テ子ヲ生スレバ常ニ其中ニ抱キ乳養スト云
是ナリ 七啖肉族。即獅。虎。熊。狼。狗。猫。類是ナリ 八
四臂族。即狨猴類是ナリ 九双臂族。即人類是ナ
リ

鱈

音而魚子ナリ

五官

視。眼。聽。耳。嗅。鼻。味。口。覺。膚。是ナリ

脛

脛。音鴟。鳥ノ臍ナリ。嗉ハ鳥ノ食ヲ受ル所

ナリ即餌袋ナリ

餵

字書ニ之ナシ按ニ喂ト相通ズ秘傳花鏡猴

ノ條ニ喂以蘿蔔トアリ

蝟

鼠ノ屬ニシテ全身針ノ如キ毛アリ俗ニハ

リネツト云者ナリ

蚱蟴

蝗ノ屬ニシテ穀ヲ害スル蟲ナリ

○猴類條

猿

猿ノ俗字ナリ和意ナシ手ナガザルノコトナリ寒國ニハ育セズ常ニ樹上ニ棲テ地ニ下ラズ地ニ下レバ泄瀉ヲ病デ死スト云故ニ其手甚長クシテ地上ノ物ヲ採取スルニ便ナラシム造物主ノ意ヲ用ヰル偶然ニアラザルナリ

猴

尋常ノサルナリ巧者ノ畜テ藝ヲナサシムル者是ナリ

狙

音狙猿ノ一種ナリ莊子曰。狙公賦茅曰朝三而暮四。衆狙怒曰云々ト是ナリ

狢

音尤似猿。仰鼻。長尾也。其鼻印ノ綬ニ似タルヲ云ナリ

臂童

清異録ニ猿ノ一名トス

巴兒

典籍便覽ニ猿ノ一名トス按ニ巴蜀ニ多ク棲故ニ此名アルナルヘシ

山公

異聞録ニ王績ト云人嵩少ノ石室ニ遊ブ月夜一人ヲ見ル湖頭擘白ニシテ甚瘦ダリ自山公ト称ス績ト談論ス中畧績恠テ鏡ヲ取テ之ヲ照セハ忽猿ニ化スト云

野賓

事物異名ニ野賓。山公ヲ共ニ猿ノ一名ト

ス

蒙頌

爾雅曰。蒙頌。獠狀。紫黑色。畜之。捕鼠。勝于猫。九夏。日南。皆出之。

獬廌

獬廌。八脚。誤ナルヘシ。獬廌似猿。頭上有鬣。腰以上。黑也。鼠ノ属ニ獬廌ト云。獸アリ。疑ラリ。ハ上下混雜シタルナルベシ。

果然

尾長。ナルナリ。形。猿ニ似テ。黑褐。色。尾ハ身ヨリ長クシテ。端ニ。岐アリ。鼻ハ仰ギテ。兩孔。天ニ向フ。雨天ニハ。体ヲ樹枝ニ掛テ。尾ヲ反シテ。鼻孔ヲ塞グ。蓋。兩滴ノ鼻孔ニ入ルヲ防グナラ。

狴

又狴々ニ作ル。嶺南交趾等ノ熱國ニ産ス。山谷ノ間ニ棲テ。數百群ヲナス。人ノ形ニ似テ。酒ヲ嗜ミ。性至テ。機警ナリ之ヲ捕フニハ。酒ト

高殿トヲ常ニ往來スル。路傍ニ置ハ。我ヲ捕ン。タメトルコトヲ悟リテ。其設ケタル人ヲ罵リ。

逃歸スレドモ。復來テ。姑ク指ヲ以テ。酒ヲ試ミ。卒ニ醉テ。高殿ヲ著テ。笑舞ス。是ニ於テ。人ニ捕

ヘラルト云。東京日々新聞。六百三十三號ニ。第

一大學區。醫學教授。ヒルゲントル。氏生。休

ノ猩々ニ就テ演スル記ヲ載ス就テ見ルベシ

狎々 俗ニヤマワロト云フ廣東新語ニ山笑ト

云ヤマワロハ山笑ナルベシ此獸人ノ形ニシ

テ毛アリテ猴ノ如シ毛ハ皆刺ノ如クニシテ

色赤シ其口イタツテ大ナリ人ヲ見レハ笑フ

笑ヘハ上唇額ニ至リ目ヲ掩フ本邦豊前薩摩

飛躡能登ノ山中ニハ間々棲メリト云

獼猴 秘傳花鏡ニ獼猴ノ一名トス

處 音環似猿多髯好奮迅其頭能投石擲人甚狡

照ナル獸ナリ

攬 音脚大母猴也。色蒼黑能攫搏人故曰攬。

獨 似猿而大。猿性群。獨性特。猿呼三聲。獨啼一声。

云々

禺 音馭。母猴屬ナリ廣東新語ニ猴ノ大ナル者

ヲ母猴ト云トアリ

板條 板攀也。又引也。條枝也。枝ヲ攀テツタヒ行

フナリ

燕 猿猴額貯食之處也

準梁 準音拙。準ハ鼻頭ナリ梁ハ鼻梁ナリ史記

ニ漢ノ高祖隆準而龍顏ト云是ナリ

躡 與_レ脛同。跟筋也。跟ノ筋肉ノ了ナリ

偷果之宵小平 多クノ猴ガ群集シテ老猴ヲ打

殺スハ果ヲ偷ムニ就テ最大事デアルガ晩ニ

群ヲ成スハ果ヲ偷ノ後常ニ此群ヲ成ス了ナ

レハ瑣細ノ小事デアルカト云了ナルヘシ宵

モ亦小ノ字ト同義ナリ

○象論條

齒換 齒音禰。男子ハ八歳而齒。女子ハ七歳而齒云。齒

換ハ齒ノ換ル了ナリ象ノ齒モ人ノ如ク換ル

了ナリ云ナリ

奶 爛ノ字ト同ジ乳房ノ了ナリ

挖拔 挖音軋。手探穴也。穴ノアル上ヲ復掘意ナ

リ言ハ象ノ牙ニテ幾度モ掘穿了ナリ

疊穎 穎穎穎共ニ同字ナリ然レハ穎ヲ以テ正

字トス从禾ヲ以テナリ穎ハ禾穗ノ挺出シテ

重垂スル者ナリ疊穎トハ艸類ノ穗ヲ疊敷下

ナリ

招 招ハ与擡同。炮ヲ拾テ牽シムル了ナリ

擡淺 擡ハ止ナリ舟ノ淺キ處ニ擡タルヲ推サ

シムル了ナリ

龐然 高大貌ナリ

若_ニ暹羅之事象云々

暹羅ノ人象ヲ以テ佛トナ

シ之ニ事_ル丁甚謹メリト云

○犀論條

皺_ク 皴_ク

老人皮膚貌也。皴ノヨリタル丁ナリ

補_ク 狗_ク

補ハ豕ノ息ナリ狗ハ豕ノ怒ル聲ナリ言

ハ補狗スル丁豕ニ似タルヲ云ナリ

嚙_ク 嚙_ク

『マ_ラ、_ク、_クノ音譯ナラン坤輿圖式ニ滿刺加

ニ作ル恐クハ是ナラン

亦金鋼石為佛牙之流歟

印度ノ俗人佛ヲ尊崇

ス故ニ何事モ佛ニ托スル丁多シ金剛石ヲ以

テ佛牙ノ化シタルモノトシテ甚_ク之ヲ尊ム丁

ナリ此犀角ヲ殊寶トナシテ毒ヲ解シ或ハ暑

氣ヲ拂フナト、云テ種々ノ器物ニ造リテ珍

重スルハ恰金剛石ヲ佛牙トスルト同シ丁ナ

リト嘲ケリタルナリ五代史趙鳳傳載有僧獻

西域佛牙明宗以示大臣鳳言世傳佛牙水火不

能傷請驗真偽以斧斫之應手而碎云々亦金剛

石ノ類ナルベシ

○虎類條

形 音而多鬚貌ナリ

鬚 音皮被髮貌。鬚音而。獸毛貌。ナリ

麻而黃 麻ハ俗ニ云、アノ色ナルベシ即飴色ニ

シテ黄ヲ帶タルコナルヘシ

莫之敢櫻 孟子ノ語ヲ用キシナルベシ櫻ハ觸

也寄舟カヌコヲ云ナリ

蹕 音綽也。一蹴スレハ牛馬ノ骨モ折ル、コ

ナリ

拔刺 刺ハ俗ニ云グイナリ數年前獅子ガ誤テ

踏刺ヲシタルコ有シト見エテ其時老僕ガ其

刺ヲ拔キテヤツタト云コナリ

○虎論條

出賞格 格ハ法則ノコニテ虎一足ヲ擒ニシタ

ラ褒美ヲ若干與ヘルト云法ヲ立シコナリ賞

ハ即褒美ノコナリ

元 金貨ノ名ナリ洋名トルラルト云今略シテ

ルト云一元ノ價相場ニ由テ高下アレ凡

亞米利加合衆國ハ本邦ノ金貨ニテ大抵三

分位ナリ

費庫幣 幣音倘金帛ノ藏ナリ即金庫ノ金貨ヲ

若干費セシト云フナリ

猛 暴也。ニハカト訓スベシ

眯目 眯、音米。物入ニ目中也。莊子ニ簸糠眯目トアリ目ニ物ハ入タルコナリ

擗 音靈窓、隔子也。按ニ竈ニ窓ヲ穿チ其隔子ノ

間ヨリ矛ヲ以テ刺スコナリ

藥 藥ノ字ト同シ

○犬論條

犴 音犴。野狗似狐シテ黑喙也

飲 音寺。糧也。又飼ト同ジ

喘吐 喘與噫、吹、哩、國

喘吐ヲ又瑞典ニ作ル噫、吹

哩、ヲ又意大利ニ作ル支那人ノ洋語ヲ音譯ス

ルニ字音ノ左傍ニ口ノ字ヲ添ル者多シ是ヲ

以テ音譯ノ標トスルナルバシ

懽々 字書安也。トアレ比安ニテハ通ゼズ按ニ

奄々ト通スルナラン奄々ハ氣息欲絶貌也

毡衫 粘ハ毛織ナリ衫ハ袖ナシ羽織ノコナレ

比通シテ衣ノコトス

亡羊 列子曰。揚子之隣人亡羊。既率其黨。又請揚

子之豎。追之。揚子曰。嘻。亡一羊。何追者之衆。隣人

曰。多岐云々。羊ノ字面暗ニ此ノ故事ヲ含メ

癩 音顛。狂病也。即狂犬ナリ

○熊羆論條

羆 大クマ又シクマト云羆ノ字ノ頭本字ハ四

ナルヲ誤テ四ニ作ル故ニ四クマト訓スト云

松前蝦夷邊ニ多ク産スト云

椶 棕ト同ジ毛色棕櫚皮ニ似タルヲ云ナリ

箍殺 箍ハ桶ノ輪ナリ箍殺トハ前足ヲモツテ

抱シメ桶ノ輪ヲ入レタ如クニシメ殺スコト

ナリ

能治風 風ハ皮膚病ノ總称ナリ癩風白癩風白

屑風ノ類ヲ云ナリ

髮鬚 鬚音髭。鬚也。又髮少也。

賜可捫窓 云々 腸ヲ開テ紙ノ如クニシテ此ヲ

以テ窓ニ糊スルナリ捫ハ撫ノ字ノ意ニシテ

撫付テ張ルコナリ

海狗 北海ニ住ム獸ノ名ナリ松前邊ニテ此獸

ヲ塩藏シテ臙肭獸ニ偽リ臙肭臙肭ト呼テ世上

ニ出シテ補藥ト称シテ鬻グ

○馬論條

不齧齟

齧音鴟。食之已久復出嚼之謂之齧。齧音柴。齒相齧謂之齟。ハミカヘシヲスルナリ之ヲニレカムト云

耕駝

耕ハ田ガヘスナリ駝ハ馱ノ誤ナリ荷ヲ負ハセルナリ

當勝王祭之云々

漢末ニ王祭字ハ仲宣ト云人落釵白鳳ト云馭馬二匹ヲ飼テ居タリシト云

○駱駝論條

門牙

前齒ナリ

稅

毛落更生也。毛ノカハルナリ

其溺製可作藥

溺音堯。小便也。水ニ溺ルト云。其ハ音匿ナリ混スル勿レ駱駝ノ小便ニハアンモニアキト云者ヲ多ク含メリ此ヲ以テ硝砂ト云藥ヲ製ス化學家之ヲ塩酸アンモニアト云

水脬

脬音拋。膀胱也。脬ハ本小便フク口ナリ然レ此ニテハ胃中別ニ水ヲ貯フル所ノ袋アリト云ナリ今適當ノ文字ナキ故ニ脬ノ字ヲ借リタルナルベシ

嗜棘刺

詩經名物考ニ棘有刺惡木之總稱也ト

アリ

不見垠倪

垠倪也。倪端也。言ハ限リナキコトナ

リ

氣而死云々

氣猶息也。言ハ計ノ遂ゲザルヲ以

テ歎息シテ喞ヲモ食セズ死タルコトナルベ

シ

○齧獸論條

脰有百葉

脰音脰。有角者脰無角者肚肚胃也。脰

亦胃也。然則角アル獸ノ胃ヲ脰ト云角ナキ獸

ノ胃ヲ肚ト云フナリ又脰牛百葉也ト字書ニ
見タリ按ニ百葉ハ食物ヲ一頓ニ脰中ニ送入
セガラシムル為メニ緩急適宜ニスルコトヲ主
トル者ナリ全體新論胃經條曰食艸之獸腹有
四脰亦曰脰食見有青州即行採食嚙滿第一脰
中走眠靜所復自次脰翻芻出口齧齧藥爛乃吞
入三脰以潤之再入第四脰生津以化之然後傳
轉於腸云々

餽

乾肉也。今牛肉ノ乾タル物ヲ臘干ト云洋名

ハムト呼フ者ノ類ナルベシ

犛

音第^{バツ}又犛ニ作ル長鬣牛也邦俗カラノカシ
シト呼ブ者此毛ナリ

山羊

頭ハ羊ニ似テ大ナリ鬣アリテ馬ノ如シ
体ニ長鬣多ク嗅氣羊ノ如シ溜^ケ色ニシテ額上
ニ一角出テ高サ一寸許脚ハ馬ノ如シ世ニ馬
ノ角ト称スル者恐ハ山羊角ナラシ

羚羊

和名鈔ニ羚羊ヲカマシト訓スルハ誤
ナリカマシハ今藥店ニテ和ノ羚羊ト云又
ニク氏云羚羊ハ和産ナシ

麋

和産ナシ朝鮮ノ方言ニ『
』ト云鹿ニ似テ

小ナリ角ナクシテ牙アリ

牛黄

牛ノ病塊ナリ形小ニシテ圓ク木樨子^{ウロジ}ノ

大サノ如シ或ハ小ナル者モアリ色黄ニシテ
微香アリ世人以テ珍寶トナスハ笑フヘキナ
リ

之獬廌

亦音譯ナルベシ

殆勝^ニ于南人黑牡丹矣

唐ノ末ニ春遊スルニ牡

丹ヲ以テ勝賞トス京師ニ劉訓ト云富人アリ
牡丹ヲ盛ニ植テ客ヲ延キ花ヲ賞ス時ニ牛數
百ヲ繫^ギテ前ニアリ客之ヲ指サシテ曰此是劉

氏ノ黒牡丹也ト是ヨリ牛ノ異名ヲ黒牡丹ト云本州書ニ唐山ニテ南方ニ産スル牛ヲ南牛ト云テ上品トス黒色ニシテ力強ク能重荷ヲ負フト云

○胎生魚論條

北溟有魚名為鯢 莊子逍遙遊篇曰北溟有魚名為鯢云々蓋寓言ナリ本編ニ所謂鯢ハ鯨ノ總名ナリ

魚掉尾也ハネルコナリ

又噸ニ作ル蓋音譯ナリ秤量ノ名ニシテ一

敦ノ重サ我二百七十一貫目強ナリ斤量ハ六石七斗七升餘ナリ

○鷹類論條

鷲鳥 鷲音至。猛擊鳥。總稱也。取其能服執衆鳥之義

義

茸領 茸ハムク毛ノコトナリ領ハエリナリ言ハ項ノ下ニムク毛アリテ領ノゴトク見ユルヲ云

披肩 風領ノ類ナリ

神鷹鷲鷲隼鷲鳩 神鷹ハタカナリ鷲ハクマ

神鷹鷲鷲隼鷲鳩

タカナリ鷓ハスバメタカナリ孟子ニ為_ニ叢_ニ驅_ル
鷓者鷓也ト是ナリ隼ハハヤブサナリ鷓ハ大
ワシナリ鳩ハ毒鳥ナリ酒ニ浸シテ飲_マシメバ
死ス所謂鳩毒ナリ鵠ハ似_テ鷹_ニ而小。鼯捕_フ雀_ヲ割_リ蒙
圖彙ニ之ヲエツサイニ充ツ蘭山翁ノ説ニ由
レハエツサイハ鷓ノ雄ナリト云

骨朶

字書ニ鹵_ハ簿_ハ儀_ハ衛_ハ具_ハ用_ニ骨_ニ朶_ヲ以_テ骨_ヲ飾_ル之_トアリ
然ラバ骨朶ハ骨片ノトナルヘシ按ニ鷓ガ常
ニ小兒或ハ禽獸ヲ抓_メ去_テ山巔ニ於_テ喰_フ故
ニ骨片ガ多ク散ケテアル其中ニ小兒ノ臥_シ居_ル

タルヲ見タト云トナルベシ

鴉鷓角鷓

鴉ハフクロウナリ鷓鷓ハミ、ツ

クナリ角鷓ハコノハツクナリ

聲如鼓鼗

鼗ハフリツバミト云フモノナリ小兒
ノ玩物ニアル豆_ハ太_ハ鼓_ノ類_ニシテ少_シク異_ナリ

俗謂病者聞聲必死

前漢ノ賈誼ト云人年十八
ニシテ洛陽第一才子ノ聞_クヘアリ文帝誼ヲ以
テ公卿ニ任ス周勃灌嬰ノ屬_ニ之ヲ忌_ミテ讒言ス
之ニ由_リテ長沙王ノ太_ハ傅_ニ貶_スセラル時ニ鷓鳥

飛來テ誼ガ舎ニ入ル鵬鳥ハ鴉ノ類ニシテ不祥
 ノ鳥ナリ是ニ於テ誼ガ思フニ長沙ハ卑濕ノ
 地ナレハ迎^トモ我壽命モ長クハアルマジト因
 テ鵬鳥賦ヲ作りテ我身ノ不幸ヲ歎ジタル故
 事アリ是ヨリ俗人が鴉ハ不祥ノ鳥ナレバ病
 者カ其声ヲ聞バ死ヌルト云フヲ訛傳シタル
 ナリ

○無翼禽論條

鵠シバク

往年西京寺町誓願寺ニ於テ駝鳥ト云フモ
 ノヲ觀タリ其狀本編載スル所ノ鵠シバクニ適當

セリ其形狀身ノ高サ五尺五寸許頂ニ骨冠ア
 リテ頭巾ノ如ク嘴ハ鷄ノ如クニシテ大ナリ
 頸長クシテ毛少ク青色ノ皮質アラハル喉下
 胸上ニ左右相對シテ淡紅色ナル囊ノ如キ者
 在ル脚ハ大ニシテ短ク三指前ニ向ヒ後ニ短
 ナル一指アリテ鷄脚ニ似タリ全身黒色羽毛
 アリテ其端未^レ跛シテ獸毛ノ如ク見ユ尾ハ見
 エズカ^ラ能^ク重ヲ負フ口中舌ナクシテ能^ク炭火ヲ
 食ヒ又石ヲ食フ余當時寫真シテ今尚^ホ篋中ニ
 藏ス本編載スル所ノ圖ト毫^スモ異ナルコトナ

シ是蘭山翁ノ啓蒙駝鳥ノ附説ニ所謂火鷄是ナリ

骨髻

髻音計束髮也。此鳥頂上ニ骨狀ノ毛アリテ束髮ノ端末廣ガリテ沫蘚ノ如クニナリタルヲ云ナルベシ

鴟鵂

未詳字書ニハ唯鳥名也トアリ

如鷄鶩而鮮野

鮮音仙鳥獸新殺曰鮮アザラケ

シト訓ス味ノ了ナリ野ハ鄙ナリ其味ノ野鄙ナル了ヲ云

博物新編紀聞卷下終

附録問答十五則

有隣本編ヲ質問スルノ際別ニ質問スルモノアリ是レ本編ヲ讀ムニ當テ尤モ知ラザルベカラサルノ要事タリ因テ附録シテ以テ同好ニ頷ツト云

問 親和力ハ如何

答 異物互ニ抱合スルノ力ヲ謂ナリユエニ引カ

ト異ナリ引カハ同物相引ノ力ヲ謂フ例之バ諸塩ノ分子同質相求テ結苴スルガ如キハ皆引カナリ加里ト酸ト異質相抱合スルガ如キ

ハ皆親和力ナリ

問 凝聚カハ如何

答 同類分ノ相積テ形ヲ成スカラナリ故ニ物ノ固
質液質氣質ヲ為スハ此カラノ進退存亡ニ係ル
ナリ

問 粘着力ハ如何

答 粘着力ハ二個ノ異類体ノ外表ニ在ル引力ニ
シテ彼同類体ノ内情ヨリ起ル凝聚カト異ナ
リ例之ハ水銀ヲ器ニ滿盛シ硝子板ヲ其面ニ
觸レハ多少粘着スルノ類ヲ謂フ

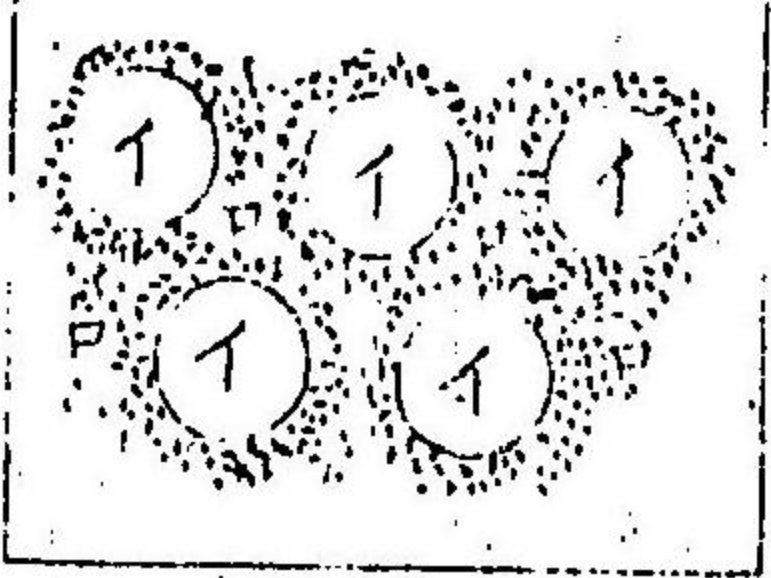
問 分子ハ如何

答 分子ニ二種アリ一ヲ体分子ト謂ヒニヲエ
テ此分子ト謂フ

問 其説如何

答 体分子ノ間隙ニ更ニ纖微ノ分子アリテ充滿
ス之ヲ名ケテエーテル分子ト謂フ体分子ハ
互ニ引ノ性ノミナラスエーテル分子ヲ引ノ
性ヲ具フエーテル分子ハ之ニ反シテ互ニ抗
拒スルノ性アリテ温素。越歷。磁石。等ヲ感傳ス
ルニ便ナラシム今了解シ易カラシメンガ為

二次ニ略圖ヲ作ル



例之イノ圈ヲ体分子トスレバエーテル
 分子ハ周圍ノ口間ニ充タル細点ノ如ク
 其体分子ニ近キトコロハ稠密ニシテ漸
 遠カレバ体分子之ヲ引クコト漸弱キヲ以テ
 エーテル分子其抗拒力ヲ逞フシテ漸空疎ヲ
 ナスナリ今一定ノ力ヲモツテ物体ヲ壓シテ
 其分子ニ漸近ツカシムレハ体分子ノ引カ等
 シク共ニ増加スト雖エーテル分子ノ抗拒力
 ヲ増加スルコトハ体分子ノ引カヨリ速ナリ

故ニ壓力去バ物体直ニ故形ニ復セントス此
 弾力ノ起ル所以ナリ

問 溶解ト溶和ノ別如何

答 溶解ハ物質稀薄スルノニシテ更ニ變セズ

例之水ニ塩ヲ解シ或ハ糖ヲ溶スルガ如シ即
 物体ノ凝聚力衰テ液質ト共ニ流動スルヲ謂
 フ溶和ハ溶シテ更ニ其性ヲ變革ス例之ハ銀
 ヲ硝酸ニ溶スレバ其本性ヲ失ヒ更ニ水ニ溶
 スルガ如キ是ナリ

問 成分ハ如何

答 物ノ体ヲ成ス微細ノ分子集合シテ成ル之ヲ

名ケテ成分ト謂フ而シテ遠近ノ別アリ

問 遠近トハ如何

答 例之植物ヲ以テ謂ヘハ氣水油塩等ノ物直ニ

相集合シテ体ヲ成ス其資所最近シユエニ之

ヲ名ケテ近成分ト謂フ其氣水油塩等ノゴト

キハ酸素窒素水素炭素等ノ諸元素ヨリ成ル

其資所モツトモ遠シ故ニコレヲ名ケテ遠成

分ト謂フ

問 異重トハ如何

答 此ニ兩体アリ其重其容共ニ等シキヲ同重ト

謂ヒ其容等シクシテ其重等シカラサルヲ異

重ト謂フ例之バ蒸餾水一容ヲ率トシテ他物

ヲ比較スルガ如キ是ナリ

問 亞ル加里ハ如何

答 塩類ノ總称ナリ亞ル加里又羅屈ト謂フ之ヲ

三種ニ大別ス一曰ホトアス又加里此植物ヨ

リ出ル塩ナリニ曰ソ一曰ダ此山物ヨリ出ル塩

ナリ三曰アンモニアキ又揮發塩此動物ヨリ

出ル塩ナリ

問 中和塩ハ如何

答 中和塩之ヲ二種ニ分ツ一ヲ『オンセイヂヘ』ト謂ヒニヲ『ミッテン』ト謂フ甲ハ酸トアルカリ塩ト偏勝ナク抱合シテ酸トアルカリ塩ト兩味ナク唯一種ノ鹹味ヲナシ大抵結晶スベク又能ク水ニ溶化スベキモノナリ乙ハ酸トアルカリ塩或ハ金属ト熟ク抱合シテ酸トアルカリト共ニ味ナキモノヲ謂フ然レモ天造ノモノニハ間偏勝スルモノアリ明礬ハ『ミッテン』トナレモ酸味アリ蓬砂ハ『オンセイ』

問 酸化ハ如何

答 諸種ノ物体酸素ヲ得テ之ト抱合シテ却テ毫モ酸性ヲ有セサル者ヲ謂フ

問 華ルスト護謨ノ區別ハ如何

答 二種共ニ樹脂ノ名ナリ油及ヒ燒酎ニ溶解スル者ヲ華ルスト謂フ水ニ溶解スル者ヲ護謨ト謂フ

問 地球常ニ運轉スルト雖北極星恒ニ其位置ヲ

守リテ變セザルノ理ハ如何

答 今黄道ノ全徑ヲ假リニ一分寸ト定ムレハ地球ト北極星トノ距離ハ二十丈トス故ニ一分寸ノ内ヲ往來シテ二十丈ノ處ヲ見ルガ如シ其至遠ナルヲ思フベシ其位置ノ差ヒヲ知ラザルモ亦宜ナラスヤ

問 幾分ト曰ヒ幾亞ト曰ヒ幾域ト曰ヒ幾和ト曰フノ類區別アリヤ

答 皆猶幾分量ト曰フガ如シ亞ハ亞多綿ノ略ナリ域ハ域華連天ノ略ナリ和ハ和量ノ畧ナリ抑

亞多綿ハ分子ノ義ナリ域華連天ハ同價ノ義ナリ儲物体ノ成分ハ一定量ヲ以テ結合スルモノナレバ若此量ヲ離ル、片ハ決シテ其体ヲ結合スルヲ能ハズ例之水ハ常ニ水素一分酸素八分ヨリ成ル此量ヲ超ル片ハ決シテ水ヲ成サズ亞ハ分子定量ノ義域ハ其ノ幾分ハ其ノ幾分ト同價ナリト謂フノ義ナリ故ニ又和量トモ謂フ猶詳ナルヲハ化學書ニ就テ看ルベシ

附錄終

專ノ行用已間

博物新編紀聞拾遺 一卷 嗣刻

此書ハ風雨針ノ解并ニ前編ニ漏タル
諸件ヲ拾遺シタル者ニシテ本編ヲ講
スルニ於テ遺憾ナカラシムルノ善書
ナリ

明治七年七月官許
同 八年二月刻成

石阪堅壯口授
神崎有隣筆記

備中倉敷阿知町

黒金舎助四郎發兌

大坂南久寶寺町四丁目心齋橋

前川 善兵衛

